

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 1月 18日 (17:00 ~18:00 )

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 15人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	14人	人	人	15人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用開始までに、必要な情報、ニーズを職員が共有し、スムーズに出来るように朝礼、ミーティングを使って周知する。</li> <li>職員全員が送迎時なので得た情報を「申し送りノート」等を活用して周知する。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間で利用者の情報を共有するようにと努めて業務に当たったと思う。申し送りを確実に行う事で良い支援に結びついている事も多くあった。</li> <li>・利用開始時に、利用者が安心して施設に馴染めるように声掛けや気遣いが出来るよう職員間で事前に周知するようにした。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	11	1		15
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	12	1		15
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	10	2	1	15
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	11	3		15

できている点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティングや個人ファイル、朝ミーティング、申し送りノートで共有している。</li> <li>・訪問する事で本人の必要なサービスや、通いの不安を取り除けるよう声掛けをしている。</li> <li>・利用計画の変更、急な変更にも、申し送りや、職員間の声掛けで、情報の共有が出来ている。</li> <li>・気付きを上げ、定期的に話し合っている。 ・送迎時家族からの体調確認を行っている。</li> <li>・本人、家族の要望があればすぐ対応できるようにしている。 ・ミーティングの記録を確認している。</li> <li>・初期利用にあたり、不安がないように環境に気を付けている。</li> <li>・普段から家族や介護者と話しをして、何でも話しやすいような関係を作っている。</li> <li>・利用開始時はファイルに記入してある情報を頭に入れ、不安になられないように声掛けを行っている。</li> </ul>

できていない点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の職員と情報の共有ができていない時がある。</li> <li>・利用者、家族の思いや細かいニーズに対応できていない。</li> <li>・業務に追われ、利用者とのかかわりが疎かになっている。 ・ミーティングに参加出来ていない。</li> <li>・家族、介護者との関わりがあまりない。 ・知り得た情報の周知が出来ていない。</li> <li>・情報を口頭で周知し申し送りへの記入が出来ず、職員間で共有出来ていない事がある。</li> </ul>

次回までの具体的な改善計画
<p>通所にて一日一回利用者さん全員と挨拶や会話を行う。</p> <p>ミーティングに参加出来ない職員もミーティング記録を確認し変更等に対応できるようにする。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 1月 18日 (17:00 ~18:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 15人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	6人	人	15人

前回の改善計画
・利用者の目標を共有出来るよう、定期的に支援内容の確認を行い、達成できる具体的な支援方法を考える。
前回の改善計画に対する取組み結果
・例) おむつの利用者には日中だけはトイレにて排泄する。等の支援内容を計画して安全に配慮した上で本人の達成感が持てる支援が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		7	7	1	15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		8	6	1	15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		8	7		15
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	8	4	2	15

できている点
・定期的に支援内容の見直しを行っている。 ・目標、したい事を職員間で話しをしている。 ・困った事があると職員間で協議して次の対応に活かしている。 ・本人の訴えや言葉だけでなく表情や態度にも気を配るように心がけている。 ・目標を共有できるように定期的に確認を行っている。 ・会話の中で「～したい」を見つけるように努力している。

できていない点
・本人の目標がわかってない。 支援内容の確認が出来ていない。 ・具体的な目標設定が難しい。答えが出せない。 ・利用者がどう考えているか聞き出せない。 ・業務に追われている。 ・個人ファイルを記入する職員が限られている、落ち着いて目を通す時間がない。

次回までの具体的な改善計画
利用開始前に職員全員がサービス計画に目を通し目標を確認する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 1月 18日 (17:00 ~18:00)

3. 日常生活の支援

参加者 15人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	13人	1人	人	15人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者全員の「以前の暮らし方」を聞き取り、職員間で共有する。</li> <li>日々の関り、記録を活用して「変化」に気付き、支援に繋げる。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	「以前の暮らし方」を聞き取るようにしたが、一人10個の目標に達していない利用者もいた。「変化」には気付けるよう心配りが出来ていたと思う。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		7	6	5	15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	12		1	15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	11	2	1	15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	11	1		15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	13	1		15

できている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人の状況に合わせて基本的な介護は出来ている。</li> <li>安全を確保しながら本人が出来る事が維持できるように環境を整えている。</li> <li>利用者の不調を感じた時に看護師に相談出来るので心強い。</li> <li>食事では身体状態に合わせムース食の提供が出来ている。</li> <li>入浴では身体状況に合わせ、機械浴、一般浴の対応をしている。</li> <li>異性介助が難しい利用者には気持ちに寄り添って介助を行っている。</li> <li>体調の急変や変化に対し、看護師、所長に相談し対応出来ている。</li> </ul>
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> <li>以前の暮らし方について把握出来ている事もあるが10個以上は出来ていない。</li> <li>援助計画の見直しが出来ていない。 ・細かい変化、情報の更新が見逃される。</li> <li>体調の変化が有った時に次の利用日に申し送りが出来ていない事がある。</li> <li>ゆっくり利用者と話しが出来る時間が少ない</li> <li>自宅での生活環境を把握できていない。</li> </ul>
---------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の表を作成し、「以前の暮らし方」10個を聞き出す。</li> <li>身体状況に合った食事の提供を行う(ムース食、きざみ食)</li> </ul>
---------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 1月 18日 (17:00 ~18:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 15人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	7人	人	15人

前回の改善計画

- ・コロナ禍でも地域と何らかの形で繋がりを継続出来るよう情報収集を行う。
- ・町内の社会資源を有効に利用できるよう、必要な支援を利用者へ繋げる。

前回の改善計画に対する取組み結果

コロナ禍でも参加できる作品展などを行った。利用者自らが参加できる行事には参加できなかった。サンサンネットを繋げた。これまで近所が行っていた見守りや相談が継続出来るように定期的に本人の状況の報告や意見交換が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		11	4		15
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	13	1		15
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		9	4	2	15
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	9	3	2	15

できている点

- ・利用者との雑談の中で色々な情報を聞き取り支援に繋げている。
- ・本人が出来ることが継続できるよう、家族に伝え、家族と本人を支える事が出来るように努力している。
- ・近所の人からの情報を持ち帰り報告している。身近で支えてくれる人との関りを大切にしている。
- ・日々の生活を聞き取り、利用者によっては軽い運動などを提案している。
- ・配食弁当やサンサンネットの利用希望があった時には支援に繋げている。
- ・訪問時に家の中の様子を見て、どのような過ごし方をしているか推測する。
- ・本人と家族の関係が切れないように支援をしている。

できていない点

- ・民生委員さんや地域の資源を把握していない。
- ・全員の情報が把握できているかとなると出来ていない。
- ・本人の自宅での活動を把握できていない。

次回までの具体的な改善計画

コロナ禍でもできる地域行事に参加する。  
「介護サービスと繋がったから地域の仕事は終わり」にならないように地域とも細かい連携を継続する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 1月 18日 (17:00 ~18:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 15人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	10人	5人	人	15人

前回の改善計画

- ・必要時に新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら、ニーズと社会資源を繋げる支援を行う。
- ・利用者の強み、可能性をミーティング等で確認し、可能性を拡げる支援を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

利用者によってはニーズと地域を繋げる支援が出来た(見守り、相談、声掛け、ゴミ出し確認)。利用者の強みを意識し、通所利用時等に他利用者と協働作業(洗濯物を干す、たたむ)等の支援が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	10	3		15
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	8			15
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4	10	1		15
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	11	1		15

できている点

- ・記録に些細な事でも記入し変化を共有出来るようにしている。
- ・利用者、家族の希望を聞き、状況に添った利用が出来ている。
- ・ニーズに応じたサービスの提供が出来ている。家族からの通い、泊りの利用変更に対応している。
- ・計画作成担当者が現場の意見を聞いてくれる。
- ・一人で難しい事も職員と協力して出来ている。
- ・利用者に変化が見られた時には管理者に相談し柔軟に支援出来ている。
- ・ファイルにて状況を把握する事が出来ている。
- ・食事提供の支援は、職員間で協力して出来ている。

できていない点

- ・本人の状態やニーズに合った柔軟な対応ができていない事がある。
- ・コロナ感染の影響により、サロン利用、図書館等の利用が難しく地域と関われない日々が続いている。
- ・地域資源を積極的に活用できていない。
- ・支援内容の変更が全職員に周知出来ていない。
- ・利用者一人一人の強み、可能性は把握できてない。

次回までの具体的な改善計画

柔軟な支援が提供出来るよう普段から、本人、家族と連絡帳や電話を通し生活状況を把握しておく。緊急時に対応できるよう平時の身体状態など職員間で周知しておく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 1月 18日 (17:00 ~18:00 )

6. 連携・協働

メンバー 15人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	12人	1人	人	15人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の中でも出来る事を探し地域と繋がる事を実践する。</li> <li>・利用者の生活に他事業所や機関が必要な時には連携し適切な支援へ繋げる。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>地域に出向く事が出来なかった。</p> <p>他のサービス機関（病院、訪問看護、福祉用具）とは連携出来、支援を継続している。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	7	4	3	15
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	5	4	5	15
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		5	8	2	15
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		3	9	3	15

できている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍であっても協力し合える事は出来ている。</li> <li>・利用者の身体状態や介護技術等、不明な点を専門職に聞いて連携している。</li> <li>・利用者との作品作り、作品を出展する事は出来た。</li> <li>・送迎を他事業所と連携して出来た。 ・支援に繋がる会議に定期的に参加している。</li> <li>・社協役員の施設訪問があり、顔馴染みの利用者との会話が出来た。</li> <li>・広報等で行事やイベントの情報を収集し参加応報を検討している。</li> <li>・コロナ感染予防の対策が出来る活動には参加している。</li> </ul>
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他事業所、団体との関わりがない。 ・訪問以外の交流方法を検討出来なかった。</li> <li>・地域での活動はコロナの影響で参加出来ていない。 ・会議に参加してない。</li> <li>・敬老会は地域の方を招いて開催できたが、それ以外では出来なかった。</li> <li>・地域住民が訪れても良いような対策が出来ていない。</li> </ul>
---------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	地域包括支援センターがどのような役割を持っているか部内研修を行う。
---------------	-----------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 1月 18日 (17:00 ~18:00 )

7. 運営

メンバー 15人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	13人	人	1人	15人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・利用者、家族からの意見の聞き取り、連絡帳の確認等を確実にし、運営に反映させる。</li><li>・新型コロナウイルス感染症の中でも地域と協働して取り組める事を見つける。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
家族からの要望は聞き洩らしがないよう、申し送り、引継ぎ等で周知するように努めた。地域との関わりを絶やさない様、意識して送迎時など挨拶をした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	2	10	3		15
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	11	1		15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	11	2		15
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		9	6		15

できている点
<ul style="list-style-type: none"><li>・家族や地域の方からの話しは共有するようにしている。</li><li>・家族からの要望など、連絡帳や電話などで頂き、改善を行っている。</li><li>・利用者や家族、地域の方からの声をミーティングで話し合い改善するように努めている。</li><li>・良い情報も共有して励みにしている。 ・自分が感じた事は意見として言う事が出来ている。</li><li>・ミーティング等で業務改善の話し合いをしている。</li><li>・地域の方からの意見や苦情は管理者に伝えその都度対処出来ていると思う。</li></ul>

できていない点
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域と協働した活動はできていない。</li><li>・会議で出した意見や内容を全職員に共有していない。</li><li>・要望、苦情など職員間で共有出来ていない時がある。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画
要望、苦情、問い合わせなど、運営に反映できるよう、関わった職員は確実に「申し送り」に記入する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 1月 18日 (17:00 ~18:00 )

8. 質を向上するための取組み

メンバー 15人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	11人	3人	人	15人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・新型コロナウイルスの為、外部研修に参加する機会が少なくなったが、リモート等の研修を活用する。</li><li>・研修資料は職員全員が目を通す時間を作り、支援に繋げるようにする。</li><li>・予測されるリスクに対し、予防的な対応を職員全員で取り組む。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
コロナ感染症など、感染症予防に関する研修が多くあった。職員が目を通しやすくし、大切な事はホワイトボードへ貼り、何度も確認が出来るようにした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか		7	6	2	15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		7	5	3	15
③	地域連絡会に参加していますか		4	5	6	15
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	8	4	2	15

できている点
<ul style="list-style-type: none"><li>・行動する時はリスクを考え、介護事故を起こさない様心掛けている。</li><li>・ヒヤリハットや事故発生した際など、原因や内容を確認し、リスクに対する改善を行っている。</li><li>・事故やヒヤリハット等は当事者が報告書を作成し速やかに職員間で共有し、改善点を話し合っている。</li><li>・研修資料配布にて、個々で研修内容を確認している。</li><li>・ミーティングで研修を行い、同じ支援が提供出来るようにしている。</li><li>・介護に対する正しい知識を得よう心掛けている。</li><li>・部内研修には参加出来ている。 ・リスクに対する意識を高く持っている。</li></ul>

できていない点
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修に参加出来ていない。</li><li>・民生委員の協議会等に参加出来ていない。</li><li>・リスクマネジメントに取り組んでいるが、感染症予防や介護事故のリスクを把握できていない。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画
ヒヤリハット報告を活用して事故防止の研修を行う。 介護職員が町内研修に参加する。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 1月 18日 (17:00 ~1:00 )

9. 人権・プライバシー

メンバー 15人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	10人	1人	1人	15人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束、虐待の研修を行い、介助の方法等の再確認を行う。</li> <li>・個人情報鍵付きロッカーに収める。テーブルの上に出っぱなしにしない。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>虐待に対する取り組みとして毎朝礼時に虐待に関する事項を確認している。          個人情報は慎重に取り扱い、直接ゴミ箱に捨てないようにシュレッターに掛けている。          常にテーブルの上に個人情報がある事を気に掛け、利用者が他利用者の情報を見る事がないように取り組んだ。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	7			15
②	虐待は行われていない	9	6			15
③	プライバシーが守られている	4	11			15
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	7	3	3	15
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	11			15

できている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束や虐待をせず、支援を提供している。</li> <li>・事業所全職員で利用者の尊厳を守る介護をしている。</li> <li>・毎朝朝礼で拘束、虐待防止の確認をして実行している。</li> <li>・丁寧な言葉遣いと傾聴する事を心掛け、馴れ馴れしい態度を取らないようにしている。</li> <li>・利用者が不安にならないような表情や態度で接するようしている。</li> <li>・個人情報は緊張感を持って扱うようにしている。</li> <li>・個人情報の管理は全職員が出来るようにしている。</li> <li>・利用者の情報は口外しない。</li> <li>・トイレ介助の時にはプライバシーを守る為にトイレ外で待つようにしている。</li> </ul>
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな声で話してしまう事がある。</li> <li>・プライバシーや個人情報が守られていない部分がある。</li> </ul>
---------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	<p>拘束、虐待防止の取り組みを継続して行う。          介護負担が大きくなっている家族には、密に連絡を取り、虐待等に繋がる事がないよう職員で連携して支援に取り組む。</p>
---------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 安芸太田町社会福祉協議会	代表者	藤井幸穂	法人・ 事業所 の特徴	当事業所は診療所の2階に併設されており、医療と連携した高齢者介護を一体的にサポートしています。近所には役場、公園、スーパー、図書館、ふれあいセンター、お寺が4か所と周辺的环境にも恵まれ、有効に資源を活用することができます。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所「ふれあい」	管理者	山下真樹子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	0人	1人	0人	1人	4人	0人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自己評価、外部評価を行う事が事業所、個人の問題解決に繋がる事を理解する。  目標を明確に出来るようミーティングで定期的に周知する。	評価について研修時間を取る事は出来なかったが、ミーティング時や、個別に問い合わせがあった時に職員で周知出来るように行った。  個別の目標については、援助計画見直しの時に職員で確認を行い、支援の中で目標を意識出来るようにした。新規の利用者については利用開始時に情報と目標が達成出来るように個別ファイルへ添付し職員が周知した。	・職員参加のもと課題を共有し、適切に自己評価が行われています。 ・事業所評価と外部評価の項目が違っているためわかりにくい。 ・「なんとかできている」と言う回答が多い事は評価するが、「この事は出来ている」「いまだ出来ていない」との回答が具体的で問題点を把握できるのでは？ ・コロナ対応も的確に出来ていると思う。	事業所評価や資料を作成する時に伝わりやすいよう具体的に記入する。
B. 事業所のしつらえ・環境	感染症予防を継続的に取り組む。 消毒（一日2回） 換気（2時間毎）  密にならない環境整備 ディルーム、食堂、送迎時車内の座席の配慮。	感染予防は継続して行えた。 消毒…昼、夕 換気…10時、12時、14時、16時  ディルームではテーブルにパテーションを置き、全員が同じ方向へ向いて座った。食堂でもパテーションを利用し向かい合わせで食事を摂らない様座席に配慮した。 送迎時は多くて2人乗車し、密にならない様便を増やして対応した。  職員はマスクを装着し、利用者がマスクを外す場面（食事、入浴）では、ゴーグル、フェイスシールド、ビニールエプロンを装着した。	・設問の内容が日常的な事とコロナ禍での対応と区別をつけるのが難しい為わからないと回答しました。実際は日常的に適切に対応されていると思う。 ・利用者の身の回りの事を適時連絡頂く事によって、必要なもの等揃える事ができ、利用している者にとっての環境整備を行うことが出来ます。 ・職員の働きやすい環境であると思う。職員から不満は聞かれない、今後改善の要望があれば尽力したい。 ・現在の環境を工夫して使用している。	継続して感染症予防を継続的に取り組む。 消毒（一日2回） 換気（2時間毎）  5月に新型コロナが「5類感染症」になった時に、施設の開放、自動ドアの解除を行い開かれた施設になるよう工夫する。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>コロナ禍においても地域との関わりが持てるよう、地域の行事に参加して、事業所の存在を知って頂く。</p>	<p>新型コロナ感染者は減少の傾向にあるが、令和4年度も地域の行事に参加する事は出来なかつた。</p> <p>地域の方と接するが出来なかつたが、お花見やドライブなど出来る事は継続して行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍にあつて、地域に出向いて関わりを持つことが難しい事は致し方ありませんが、所内の行事等を通して関わりを持とうとされている事は理解できる。</li> <li>・職員の対応はとても良く安心していきます。細かな変更にも対応出来ている。</li> <li>・連携、情報交換は出来ている。認知度は高いと思う。</li> <li>・コロナの心配はあるが少しずつ交流を進めていかれると良い。</li> <li>・事業所に近い地域については関りがあると思いますが、遠方は難しいと思います。何か考えても良いかと思ひます。</li> <li>・人口減少の過疎地域では若者は当然の事ながら高齢者減少します。その現実を踏まえて今後事業所のあり方を広く考える時期に入っているのではないか。</li> </ul>	<p>以前参加していたサロンへの参加を再開する。</p> <p>季節の行事（敬老会、報恩講等）を行う時に家族へ参加の声掛けを行う。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>利用者の地域での関係を継続出来るよう、自宅での暮らしの様子を職員間で周知して送迎時などで会う近隣の方と挨拶や情報交換ができる関係作りを行う。</p>	<p>数人の利用者については、近隣住民の方と連携を取りながら毎日の支援を行う事が出来た。</p> <p>新型コロナ感染症の為、積極的に地域の方と接する事は難しかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者との繋がりを保つ為に職員が近隣の方と情報交換を行う関係作りをする事は必要な事ですが、実際にはなかなか難しい事かと思ひます。事業所として行うより、もっと他の組織と連携して行うこともかもしれません。</li> <li>・各種研修への参加によって暮らしに関わる様々な問題解決に取り組んでいる事が理解できた。</li> <li>・言うほど簡単な事ではないが、事業所の今後のあり方を示す一つの大きなテーマになると思ひます。</li> <li>・地域の方と協力して支えておられる。</li> </ul>	<p>地域の困り事の相談を受けた際、自事業所だけで判断するのではなく、社協居宅、包括支援センターと連携し、解決に繋がる支援を多職種で検討する。</p> <p>利用者が望む暮らしを支える事が出来るよう近隣住民と情報交換を行う。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>運営推進会議にて頂いた意見をミーティングで職員に周知する。</p> <p>コロナ感染症が落ち着いた時に、委員さんに事業所内を見学して頂く。</p>	<p>運営推進会議で頂いた意見を翌日の朝礼で伝えた。</p> <p>全員への周知は難しかった。</p> <p>委員さんの事業所内を見学して頂く事は出来なかつた。</p> <p>来年度は見学して頂きたく思ひます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所については会議の時に報告を受けている。安心していきます。</li> <li>・会議以外に何か実のある活動があると良いと思う。</li> <li>・個々の利用者に対応した問題解決型の推進会議になれば良いと思ひます。</li> <li>・事業所の状況が細かく説明されています。利用者の時を選ばない状況の変化に応じた適切な対応がされている事に感謝します。</li> </ul>	<p>委員さんに事業所内を見学して頂き、利用者の施設での過ごし方を見て頂く。</p> <p>事業所で起きている問題をリアルタイムで相談、報告し助言を頂く。</p>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・定員割れについて、一時的なものか、今後も減少が見込まれるのか、状況の把握に努め、有効な運営が出来るよう検討して行きたい。</li> </ul>	
F. 事業所の 防災・災害対策	<p>年2回の消防避難訓練は出来ている。</p> <p>来年度は隣接する地域支援センター、通所介護事業所と合同で消防避難訓練を行う。</p>	<p>今年度の2回目の避難訓練時に AED の訓練を予定していたがその時期にコロナ感染者が急増し延期になったまま実施する事が出来なかった。</p> <p>※来年度予定、消防署と日時調整中。代替えに事業所内で消防訓練を行う。</p> <p>合同訓練は出来なかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防避難訓練等について、実績報告を委員に見てもらおうようにすると良い。</li> <li>・風水害には施設的には強いと思うが地震、特に火災時が心配される所です。建物内や近隣の諸機関と連携されると良いと思う。</li> <li>・コロナ感染対策は通常の業務を上回る物があり大きな負担を必要とした事と思う。</li> <li>・日々のチェックに尽きます。</li> </ul>	<p>AED を使った訓練を行う。</p> <p>施設の消防計画を委員さんに見て頂く。</p>